

羽村市議会議員

鈴木たくや 議会/活動報告

No. 7
2009. 1. 15

日本共産党

すずたくだより



事務所 富士見平1-4-1松沢コーポ101 電話080-1058-9450
ブログ <http://suztaku.blog.ocn.ne.jp> メール suztaku@ab.cyberhome.ne.jp

日野自動車
羽村工場へ

羽村
市長へ

「雇用と地域経済を守る責任を果たせ」と要請

◆皆さんこんにちは。共産党の鈴木たくやです。

◆アメリカ発の不況が羽村市にも深刻な影響をおよぼし始めています。今こそ羽村市が「市民の生活を守る」という役割を発揮する時です。

◆私は、派遣社員など1000人以上のリストラをおこなっている日野自動車と羽村市長を訪れ、体力ある大企業が雇用を守るよう、また、市が積極的に雇用と暮らしを守る役割を発揮するよう、要請をおこないました。

(要請には、共産党羽村市議団、鈴木おさむ/党地区委員長、とくとめ道信・池田真理子/党都委員会常任委員が参加しました)



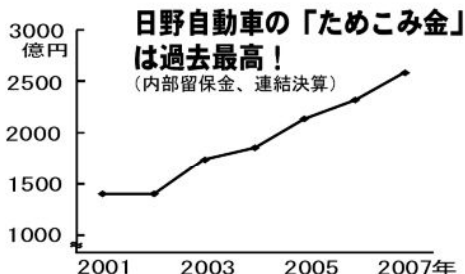
日野自動車：「(雇用も) 生産に合ったものにしていかなければならない」

日本共産党：「景気悪化を理由に『調整弁』のように労働者を切り捨てることは、許されない」



日本共産党：「一方的な『派遣切り』『期間社員切り』をおこなわないよう、企業に強力に要請を」

市長：「企業と(自治体と)の信頼関係はいまこそ生かすべきとき」



●労働者が積み上げた「ためこみ金」(内部留保)を、雇用守るために使うべき時です。

●雇用・地域経済を守るルールを作るため、声あげましょう！

12月議会 一般質問

論戦ハイライト



今回の一般質問は、3つのテーマをとりあげました。いづれも迅速な対応が求められる課題ばかりです。持ち時間の1時間、めいっばいの質問をおこないました。(発言は、内容を要約しています)

質問① 安心できる介護保険制度にするために

●介護保険は、3年ごとに見直しがされることになっており、今年4月がそれにあたります。

●これまで「必要な介護がうけられない」「保険料が高すぎる」など様々な声があげられてきました。市は、さまざまな工夫・努力をおこない、これらの声に応える必要があります。

●保険料の値上げをしない、誰もが必要なサービスを受けられるよう対応をとるなど、市民が安心できる介護保険になるよう質問しました。市は保険料を値上げしない方向で検討していることなどを答弁しました。

Q.鈴木 介護保険料は値上げをおこなわず、負担能力に応じたものにすべきです。そのために積み立てられている「基金」をとりくずすなどの対策をとるべきではないですか？

A.羽村市 低所得の方の保険料はできるだけ抑えたいと思っています。基金についてはできるだけ活用する方向でいきたいと考えております。

Q.鈴木 必要なサービスが受けられない市民に対して、生活援助サービスなど(渋谷区などで実施)を市独自でおこなうべきではありませんか？

A.市長 「要支援」などの方には、本人の「できる能力」を生かし、重度化の防止をはかっていただくことが重要ですから、生活援助などの介護サービスを行なうことは考えておりません。

羽村市の高齢者アンケートから

| | | 平17年 | 平20年 |
|---------------------|--------------|-------|---------|
| Q. 介護保険料負担の家計への影響は？ | 大いに負担かかる | 25.0% | ➡ 31.8% |
| | やや感じる | 43.2% | ➡ 44.1% |
| | 以前とそれほど変わらない | 14.9% | ➡ 10.6% |
| | あまり変わらない | 8.5% | ➡ 6.5% |

声あげ、安心できる介護保険にしよう！



質問② 豊かな保育を実現するために問う

●国は、「保育園に入れない子どもがたくさんいるから」ということを口実に、保育のレベルを下げ、企業まかせの制度へと「規制緩和」をおこなう動きを示しています。

●私は、日本の保育予算は世界的に見ると極めて低いことを示しながら、レベルを下げるので

はなく、質の良い保育を多くの子どもがうけられるよう、予算を切り替える提案をしました。

●また、認証保育所を利用している保護者への補助金の創設、途中入所で補助金が十分に払われない制度の穴をうめることなどを提案しました。市の答えは不十分なものととまりました。

Q.鈴木：厚生労働省で検討がすすめられている制度改変について、市長の見解は？

A.市長：保育をとりまく社会状況などを考えると、より良い保育制度のあり方について大いに議論することが必要だと考えます。

Q.鈴木：大いに議論する、確かにそれはかまいません。ただ、保育を悪くする方向に行ってしまうのは困ります。



子育てにまわすお金が少なすぎます！

※OECD調査で日本は30ヶ国中26位という低さ！
(家族政策に関する財政支出規模、対GDP比)

Q.鈴木：認証保育所に子どもを通わせる保護者の負担は、認可保育園の3倍近くになる。差額を補助する制度をつくるべきではないか？

A.市長：施設を利用されない子育て家庭との公平性を欠くことなどから、おこなう考えはない。

Q.鈴木：福生や瑞穂では補助制度を始めています。やる方向で考えていくことが必要ではないか？

A.羽村市：現段階では考えておりません。



質問③ 派遣社員・期間従業員のリストラに対して、企業に雇用を守る責任を果たさせる要請を

●世界的な不況の中、羽村市内の企業でも、派遣社員や期間社員のリストラが激しくおこなわれています。

●私は、まず、市がリストラの状況をしっかりとつかむこと、さらに、市内企業へ安易にリストラをおこなわないよう市がきちんと要請をすることを求めました。

●市長は、「権限がない」から調査や要請はできない、ということをくり返しました。私は、他の自治体では、長が企業への要請をおこなうことを答弁していることなどをあげ、市が市民の雇用と地域経済を守る役割を果たすよう再度求めました。

●市は後日、市内企業の雇用状況の調査や、雇用安定のための相談窓口の設置を決めました。

Q.鈴木：これまで企業は非正規労働者を安くつかい、巨額の利益をあげてきました。雇用を守るために可能な限りの努力をおこなうことは企業の社会的責任です。市は市内企業での解雇などの状況をどのように認識していますか？

A.市長：市は雇用対策に関する調査や要請をおこなう権限はもっておりません。

Q.鈴木：たとえば横浜市長は「企業にとってはきびしい経済情勢だが、今後ともさまざまな機会に雇用の確保について働きかけていきたい」と言っています。羽村市は雇用の問題について、関心がないのではないか？

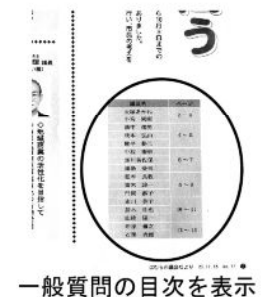
A.羽村市：関心は大いにあります。企業が力をつけていただいて、めぐりめぐって、雇用の確保につながっていくんだらうと考えております。

議会だより編集委員としてさまざまな提案しています

●議会ごとに発行される「はむら市議会だより」の編集委員をおこなっています。より分かりやすく、市政に関心を持ってもらえるような内容になるよう、様々な提案をおこなっています。

●例えば、これまでは紙面に質問者の顔写真は入っていませんでした。どの写真を使うのかなど、いろいろな議論があり、まとまらなかったようです。私は、選挙公報の写真を使えば、公平でより良い紙面になることなどを提案し、そのように改善されました。

●また、質問の目次（一覧表）を先頭のページに表示することも提案し、改善がなされました。さらに読みやすく、分かりやすいものとなるため提案をおこなっていきます。



小中一貫校シンポジウム (武蔵村山市) に参加してきました

羽村市と同様に「小中一貫教育校」の計画をすすめている武蔵村山市のシンポジウムに参加してきました。

一貫校とそうでない学校との格差、お金がかかりすぎることなど、さまざまな問題が指摘されていました。また、教育的効果は未知数との指摘もなされていました。

羽村市では、小中一貫校実施さきにあきまの計画を撤回すること、2期制の再検討や、少人数クラスの実施を求めていきます。



熱心に質問が交わされたシンポ

「区画整理をストップ」した稲城市を視察してきました

東京・稲城市では、百村（もむら）という地区の区画整理を中止しました。住民の多くが反対を表明したことがその理由です。

視察では「これからの町づくりは、市民との協力が不可欠」と担当者が話してくれました。羽村駅西口区画整理も住民の声を生かしたものに变更させるためがんばります。



ご意見・ご要望などぜひお寄せください。
(080-1058-9450)

